



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 日新製糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2116 URL <http://www.nissin-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 住井 昌三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長

(氏名) 川口 多津雄

TEL (03)3668-1293

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,144	3.3	639	15.3	678	27.4	386	67.2
23年3月期第1四半期	10,791	2.3	555	71.2	532	73.7	231	34.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 330百万円 (167.5%) 23年3月期第1四半期 123百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.80	—
23年3月期第1四半期	4.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	37,982	28,543	75.2
23年3月期	37,719	28,510	75.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 28,543百万円 23年3月期 28,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,300	2.6	1,300	△1.8	1,300	△3.5	800	15.8	16.16
通期	45,300	2.2	2,100	△16.8	2,200	△15.8	1,300	△6.7	26.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成23年10月3日に新光製糖株式会社との共同持株会社設立による経営統合を予定しております。このため、上記平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現在の当社組織を前提に算定しており、平成24年3月期の配当予想につきましては、共同持株会社への配当となるため未定としております。経営統合に基づく新会社の連結業績予想および配当予想につきましては、あらためて発表する予定であります。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	50,387,948 株	23年3月期	50,387,948 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	869,349 株	23年3月期	869,180 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	49,518,726 株	23年3月期1Q	49,524,748 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 業績全般の概況

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災による深刻な影響を受けた後、生産、輸出面で持ち直しの動きがみられるものの、電力供給不安などの制約に加え、依然低調な個人消費や雇用情勢など、厳しい状況が続きました。

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場(期近限月の帳入れ価格)において1ポンド当たり27.44セントで始まり、商品相場全般の上昇に伴い28.00セントの高値となりましたが、主要輸出国タイにおける大幅増産予測による需給逼迫懸念の後退などから、5月上旬にかけ20.47セントまで下落しました。しかし、その後は中東・北アフリカ諸国の現物需要増加や、最大生産国ブラジルにおける減産懸念を背景に上昇に転じ、当四半期最高値の29.28セントとなった後、28.36セントにて当第1四半期連結累計期間を終了しました。

国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)は、上白糖1kg当たり189~190円で始まり、同価格水準のまま、当第1四半期連結累計期間を終了しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,144百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は639百万円(同15.3%増)、経常利益は678百万円(同27.4%増)となり、四半期純利益は386百万円(同67.2%増)となりました。

## ② セグメント別の状況

	売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益または損失(△) (営業利益)		
	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	対前年同期比		当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	対前年同期比	
		増減額 (百万円)	増減率 (%)		増減額 (百万円)	増減率 (%)
砂糖その他食品事業	9,837	447	4.8	889	71	8.8
健康産業事業	490	0	0.2	△8	15	—
その他の事業	817	△94	△10.4	88	23	36.5
合計	11,144	353	3.3	969	111	13.0
調整額	—	—	—	△329	△26	—
連結損益計算書計上額	11,144	353	3.3	639	84	15.3

## i 砂糖その他食品事業

主力の砂糖の販売量は、前年同期を上回りました。当社の主要な販売基盤である東北地方が震災の影響を大きく受け、家庭用小袋の販売量が減少しましたが、業務用製品については、飲料メーカーなどの7月以降の節電を見越した前倒し生産に伴う需要増から、販売量は前年同期を大きく上回りました。その他の甘味料につきましても、果糖が飲料向け需要を中心に好調に推移し、販売量を伸ばしました。

その結果、売上高は9,837百万円(前年同期比4.8%増)、セグメント利益は889百万円(同8.8%増)となりました。

## ii 健康産業事業

会員制スポーツクラブのドゥ・スポーツプラザは、若年層を中心とした利用者の減少や、価格競争といったフィットネス業界全般における近年の傾向に加え、3月の震災後の一部店舗の休業や消費者心理の冷え込みによる影響もあり、厳しい状況が続きました。こうしたなか、新規会員の入会促進策や既存会員に対する定着施策の実施、スクール部門の強化に努めました。

その結果、売上高は490百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント損失は8百万円(前年同期は24百万円の損失)となりました。

## iii その他の事業

港湾運送事業では、合板などの建材が、震災の影響による国内メーカー供給網の寸断などによる輸入品への代替需要から取扱高が増加し、冷蔵倉庫事業の取扱高についても順調に推移しました。一方、合成樹脂等販売事業は、主力の合成樹脂において、昨年来の安価な海外製品の輸入増により、取扱高は減少しました。

その他の事業の合計の売上高は817百万円（前年同期比10.4%減）、セグメント利益は88百万円（同36.5%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、有価証券、商品及び製品の増加、ならびに現金及び預金、原材料及び貯蔵品の減少などから、前期末に比べ262百万円増加し、37,982百万円となりました。

総負債は、支払手形及び買掛金の増加などから229百万円増加し、9,438百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などから33百万円増加し、28,543百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績の進捗および第2四半期以降の業績見込みを踏まえた結果、平成23年5月12日の公表数値から変更しておりません。

なお、当社は、平成23年10月3日に新光製糖株式会社との共同持株会社設立による経営統合を予定しております。このため、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現在の当社組織を前提に算定しております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,800	1,156
受取手形及び売掛金	4,568	4,632
有価証券	4,550	5,300
商品及び製品	2,368	3,075
仕掛品	258	243
原材料及び貯蔵品	1,578	961
その他	562	670
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,687	16,040
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,091	6,091
その他(純額)	3,492	3,416
有形固定資産合計	9,584	9,508
無形固定資産	137	147
投資その他の資産		
投資有価証券	10,602	10,607
その他	1,803	1,773
貸倒引当金	△95	△95
投資その他の資産合計	12,310	12,286
固定資産合計	22,032	21,942
資産合計	37,719	37,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,256	3,714
短期借入金	1,100	1,100
引当金	318	145
その他	1,907	1,925
流動負債合計	6,581	6,885
固定負債		
引当金	531	473
その他	2,095	2,078
固定負債合計	2,627	2,552
負債合計	9,209	9,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,004	7,004
資本剰余金	7,718	7,718
利益剰余金	12,256	12,345
自己株式	△194	△194
株主資本合計	26,785	26,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	36
繰延ヘッジ損益	26	△11
土地再評価差額金	1,643	1,643
その他の包括利益累計額合計	1,724	1,668
純資産合計	28,510	28,543
負債純資産合計	37,719	37,982





